



◀ そのほかの取材記事はこちらから

山田 恵美 赤こりリポーター



近江商人がつなぐ姉妹都市交流
「北海道松前フェア 2026」

旧八幡郵便局にてあきんど道商店街「北海道松前フェア 2026」が2月28日開催されました。会場では北海道松前の海の幸、真ほっけや近江八幡の地元の食材を使った長寿なべの販売のほか、近江八幡と松前町から取り寄せた特産品がもらえるガラポン大抽選会に参加できるあきんど道商店街を巡るスタンプラリーが行われ、参加者はまち歩きを楽しみました。江戸時代初期までさかのぼる松前町とのつながりが、これからも続いていくことを願っています。八幡公園には松前町から寄贈された松前桜も植えられています。両地のゆかりを感じる松前桜、花を咲かせるのはもうすぐです。ぜひ見に行ってみてください。

西野 康代 赤こりリポーター



信長がひらいた街道をゆく

2月20日、安土城築城450年記念としてハイキングが開催されました。近江八幡駅に集合し、4チームに分かれ、それぞれ15人程が、観光ボランティアガイドに歴史やエピソードを詳しく説明してもらいながら歩きました。テーマが「信長がひらいた街道をゆく」ということで、本願寺八幡別院から旧伴家住宅、新町通り、黒橋古戦場、浄厳院と休憩を取りながら歩き、昼食後はセミナーヨ跡を巡って百々橋から安土城跡まで約12Kmの道のりでした。「この街道は信長がつくった時には下街道と言われ、その後朝鮮人街道と呼ばれるようになりました」など、ガイドの説明に興味深く耳を傾け、熱心に質問もしていました。このイベントは5月、6月にも開催されます。

松村 美沙枝 赤こりリポーター



未来につながるまちづくり
オーガニックビレッジ座談会

G-NETしがでオーガニックビレッジ座談会が3月1日、開催されました。昨年5月に本市が「オーガニックビレッジ宣言」をして以来、この座談会は2回目です。市内で農業に関わっている人から市内での農業に興味のある移住希望者や移住予定者まで、さまざまな立場の参加者は、有機農業の現状や他地域の先進事例などを聞き、意見交換を行いました。「農」と「食」の観点だけでなく、脱炭素化社会の実現やまちおこしのランドマークとしてなど、自由で夢のある意見がたくさん飛び交っていました。これからの市のオーガニックビレッジ推進に期待しています。

向坂 奈穂美 赤こりリポーター



パイプオルガンが奏でる、音の豊かさに触れて

文芸セミナーヨで「パイプオルガン探検隊」が2月28日開催されました。幼児向けの行事ですが、本格的な響きは大人も引き込まれ、親子で楽しめる充実の内容でした。一番の驚きはホール全体を包む音の豊かさで、ラッパのような音色から、地響きのように伝わる重低音まで、全身で音楽を体感できました。ミニコンサートもあり、子どもたちが大好きな曲と一緒に歌う楽しい時間でした。演奏後は、ずらりと並ぶパイプを間近で見学。迫力ある演奏が、目の前のパイプから響いていたのだと感じ、パイプオルガンの素晴らしさを知るひとときでした。ぜひ、ホールいっぱい響く本物の音色を体感しに、足を運んでみませんか。



市内のイベント情報ははこちらから▶

3月8日



万一に備えて防災総合訓練

市役所、安土町総合支所などで防災総合訓練を開催し、災害発生時に迅速、的確な応急対策活動ができるよう関係機関や地域住民との協体制の確立を図りました。新市庁舎開庁に合わせて整備した、総合防災情報システムを活用した被害情報や避難情報などの伝達訓練では、災害対策本部と各コミュニティセンターを中継でつなぎました。さらに市消防団による火災防衛訓練、近江八幡消防署と県防災ヘリによる火災延焼偵察訓練、電気・水道などの災害復旧訓練や救護所開設訓練など14項目の訓練状況を遠隔会議システムにて映像で確認しました。災害時にはリアルタイムで情報把握し、迅速な対策検討が可能になります。また、災害時のトイレ環境の確保のため、令和7年度に導入したトイレカーの展示もありました。

3月7日・8日



自分だけのカラフルアイテムを作ろう！

カラフルな布パーツを使って自分でカバンや帽子を作るワークショップ、「カラフルモンスターになろう！」が市文化会館で開催され、市内の小学生約50人が参加しました。この取り組みはアートで広げる子どもの未来プロジェクトの一環として、子どもたちが芸術に触れる機会を増やそうと、成安造形大学の協力のもと開催されたもので、布パーツは㈱イトーキ滋賀工場から出された廃棄予定の布の切れ端で作られていました。参加した子どもたちは、「布を選ぶのが楽しかった」「ボタンの向きにまでこだわった」「また家でも作りたい」と話し、自慢げに作ったものを身につけていました。

2月18日



データから価値を導き出そう！

今年度、市内在住・在学の中学生を対象とした地域クラブ活動「データサイエンス入門クラブ」の活動発表を滋賀大学彦根キャンパスで行いました。このクラブは、ビジネスや社会課題の解決に役立つ「データサイエンス」を学ぶことで、これからの時代を「生き抜く力」を身に付けてもらおうと、滋賀大学データサイエンス学部、近江テック・アカデミー(株)と連携協定を締結し、運営してきました。「テーマパークの来場客数についてのデータ分析」をテーマに、4つの班に分かれて分析結果や提案などを発表し、滋賀大学データサイエンス学部の市川学部長に講評をいただきました。発表を行った速水陸翔さんは「なかなか結果に結びつけるのは難しかったけど、何回も試行錯誤することで手がかりがつかむことができ興味深かった」と話しました。



「瑞風」を迎える歓迎看板を設置

「TWILIGHT EXPRESS 瑞風」は、平成29年から運行されているJR西日本の特別な寝台列車です。西日本エリアを巡る列車で、今春からJR近江八幡駅に停車するコースが新設されました。この列車は、運行中の沿線での立ち寄り観光を魅力の一つとし、本市ではヴォーリス建築や八幡堀周辺などを訪れ、歴史や文化を感じてもらえるツアーが準備されています。また、JR近江八幡駅の改札や通路、ぶーめらん通りの街灯にも看板を設置するなど、関係機関が協力しています。「瑞風」の停車をきっかけに、全国に本市の魅力を発信していきます。